

板橋区キャリア教育の推進に向けて

平成23年3月 板橋区教育委員会指導室

板橋区では、「小中一貫キャリアガイダンス資料『わたしたちの進路～自分づくりの旅へ～』」を、平成20年度より、小学校5年生から中学校3年生までの全児童・生徒に配布し、キャリア教育の推進を図っています。

キャリア教育とは「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」のことです。

平成22年5月17日 中央教育審議会キャリア教育・職業教育特別部会
「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について(第二次審議経過報告)」より

学校教育法第21条(義務教育の目標)

10 職業についての基礎的な知識と技能、勤労を重んずる態度及び個性に応じて将来の進路を選択する能力を養うこと。

幼稚園教育要領解説

幼児は、幼稚園生活において多くの他の幼児や教師と触れ合う中で、自分の感情や意志を表現しながら、自己の存在感や他の人々と共に活動する楽しさを味わい、ときには幼児同士の自己主張のぶつかり合いによる葛藤などを通して互いに理解し合う体験を重ねながらかかわりを深め、共感や思いやりなどをもつようになる。(第2章 第2節の2)

学習指導要領解説 総則編

小学校 児童が自分自身を見つめ、自らの将来について目を向ける機会などを通して、自分の特徴に気付き、自分らしい生き方を実現していこうとする態度を育成していくことが大切である。(第3章 第5節の5)

中学校 生徒が自分自身を見つめ、自分と社会とのかかわりを考え、将来、様々な生き方や進路の選択可能性があることを理解するとともに、自らの意思と責任で自己の生き方、進路を選択することができるような適切な指導・援助を行うことが必要である。(第3章 第5節の4)

キャリア教育で行う活動(例)

学年等	すべての教育活動	道徳・特別活動等 (小学校5年生からは「わたしたちの進路」も使います。)
保育所 幼稚園	・あいさつや遊び、話し合い等の、人間関係を築く活動。	・あいさつをする ・友だちと仲良く遊ぶ ・遊び方を工夫する ・いろいろな活動や遊びに興味をもつ ・年下の子に遊びを教える
小学校	1・2年	・校内めぐり ・地域や公園の探検 ・公共施設の探検 ・家の仕事体験 ・1年間のふりかえり ・周囲への感謝
	3・4年	・商店、工場、警察、消防等の仕事 ・将来の夢をもつ ・働くことや地域の伝統を学ぶ ・1/2成人式 ・住みよい暮らしについて考える
	5・6年	・自分のよさや友だちのよさを知る ・委員会について考える ・学習計画を立てる ・職業調べ ・働いている人からお話を聞く ・中学校の生活を知る
中学校	1・2年	・働くことや学ぶことを考える ・職場体験 ・自己の適性を考える ・中学校卒業後の進路について考える
	3年	・学ぶことや働くことを考える ・高校の生活を知る ・卒業に向けて今までの学校生活をまとめる

キャリア教育を充実させるために各学校で取り組んでおくこと

- 校内研修会等とおして、キャリア教育について、教職員の共通理解を図る。
- 校務分掌にキャリア教育担当(または委員会)を設置する。
- 各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動などで取り組んでいる活動とキャリア教育との関連について話し合い、整理する。→今までやっていたことをキャリア教育の視点で見つめる。
- 卒業後の進路を見すえ、体験とおして自校園の幼児・児童・生徒一人一人の現状と課題をとらえる。
- 自校におけるキャリア教育の目標や目指す児童・生徒像を設定し、全体計画・年間指導計画を作成する。
(平成23年度教育課程届の補助資料として、キャリア教育の全体計画を提出)
- 保幼小中連携研修会等で各校園の実践について意見交換等を行う。
- 学期ごと年度ごとに、全体計画に基づいて、評価をする。